

第4回関東大学春季大会 実施要項

1. 主催 関東ラグビーフットボール協会

2. 目的 大学レベルの競技力向上のため公式戦数を増やし、春・秋の2シーズン制で年間を通じた強化を目指す。また関東大学対抗戦とリーグ戦の交流を通して、各選手にラグビー精神を周知するとともに、招待試合や各地フェスティバルなどに組み込むことによって、その精神と競技の地域普及を図る。

3. 大会実施日

<リーグ戦>

平成27年4月25日(土)～6月21日(日)

<対抗戦選抜ーリーグ戦選抜：オールスター戦>

平成27年6月28日(日)

4. 場所 各チームグラウンド、その他

5. 出場チーム 対抗戦A、リーグ戦1部、対抗戦B1位、リーグ戦2部1位 計18チーム

Aグループ：対抗戦A・リーグ戦1部 前年度秋季戦の各1～3位

Bグループ：対抗戦A・リーグ戦1部 前年度秋季戦の各4～6位

Cグループ：対抗戦A・リーグ戦1部 今年度の各1・2位扱い、対抗戦B・リーグ戦2部各1位扱い

※秋季リーグの結果入替が生じた場合は、その結果を反映する。

6. 参加資格

①単一大学の組織規程上正規の学生であり、大学院生の場合は26歳以下であること。但し、研究生、科目等履修生、聴講生、研修生は含まれない。

②チームのメンバーは、所属チームを通じ競技者個人登録をしていること。

③(公財)日本ラグビーフットボール協会規程「チームの登録等に関する規程」第4章に定義する外国人選手については、「外国人選手登録手続き」を完了し、引き続き部員として練習その他の活動を共にしている者に限る。但し、競技区域内にいる外国人選手は2名までとする。

7. 競技方法

<対戦方式>各グループ内で総当たり戦を行う。

A	リ1	リ2	リ3
対1			
対2			
対3			

B	リ4	リ5	リ6
対4			
対5			
対6			

C	リ7	リ8	リ②1
対7			
対8			
対B1			

<順位決定>

- ①順位の設定に当たり、勝ち点制を採用し、全試合終了時点で、勝ち点の多い順に順位決定を行う。
- ②勝ち5点、負け0点、引き分け2点とする。
- ③またボーナス点として、以下の勝ち点を与える。
 - 1)勝敗に関係なく、4トライ以上獲得したチームに、勝ち点1を追加
 - 2)負けても7点差以内ならば、勝ち点1を追加
- ④全試合終了時点で勝ち点と同じ場合、次の各号により順位を決定する。但し、3チーム以上が並び、各号において2チームが並んだ場合は、並んだ2チームについてそれぞれ次号により決定する。
 - 1)全試合の得失点差の多いチーム
 - 2)全試合でのトライ数が多いチーム
 - 3)全試合でのコンバージョンゴール数の多いチーム
 - 4)当該チームでの抽選

8. 競技規則

- ①2015年度IRB制定の競技規則による。世界的試験実施ルールを適用する。
- ②試合時間は40分ハーフとし、ハーフタイムは10分以内とする。

9. 表彰

- ①A・B・C各グループの優勝チーム
- ②ベストマナー賞：試合内外の態度、応援マナー、競技規則遵守の観点より別紙書式にて監督推薦
- ③対抗戦ベスト23名とリーグ戦ベスト23名(参加チームより最低1名選出)

10. 罰則

<カードの適用について>

- ①累積は、前年9月より持ち越す。但し高校時の分は含まない。
- ②大会期間中、一時的退出(イエローカード)の累積3回目の宣告をされた場合、同一試合2回目でない限りその時点で退場とはならないが、最低でも次の1試合には出場できない。当該試合終了後、関東協会規律委員会にて状況確認を行い裁定する。
- ③退場を命じられたプレーヤーについては、最低でも次の1試合には出場できない。当該試合終了後、関東協会規律委員会にて状況確認を行い正式に裁定する。

<カード適用時の外国人選手の起用について>

外国人選手にカードが適用された場合、外国人枠は以下の通りとする。

- ①退場となった場合、競技区域内人数のうち2名まで。
- ②一時的退出となった場合、一時的退出中の人員も含め2名まで。

11. 運営に関する諸事項

- ①レフリーと第3アシスタントレフリーは関東協会が指名するが、タッチジャッジについては両チームで担当すること。

- ②原則マッチコミッショナーを関東協会より派遣する。
- ③原則マッチドクターはチームドクターに依頼する。
- ④テクニカルゾーンとマッチコミッショナー席を設置する。
- ⑤当番チームは対戦カード右側のチームとする。
- ⑥キックオフ 1 時間前にプレマッチミーティングを試合会場内にて開催する。参加者はマッチコミッショナー、レフリー、監督(または準ずる者)、チームメディカルスタッフ、主務とする。
- ⑦出場メンバーを、キックオフ 48 時間前までに関東協会と対戦チームに送付すること。変更は原則プレマッチミーティングまでとする。なお、変更の際は必ず相手チームに連絡し了承を得ること。直前の試合でけがをするなど、変更を余儀なくされた場合は、相手チーム・レフリー・マッチコミッショナー全員に連絡すること。
- ⑧当番チームは、試合後 30 分を目途に事前に送られた所定の記録用紙を関東協会まで FAX すること。
- ⑨原則としてチームのファーストジャージを着用し、同色または類似して見分けにくい場合は、双方の話し合いによって決める。
- ⑩試合球は、スズキスポーツ・セプターより提供されるボールを当番チームへ支給する。
- ⑪アフターマッチファンクションの有無はチーム間で調整のこと。但し関東協会からの補助はないものとする。

<テクニカルゾーンについて>

- ① テクニカルゾーンは、ハーフウェイラインより左右対称となる位置に、タッチラインから 2m 以上離れ、かつハーフウェイラインから 5m の地点から始まるのが望ましいが、各会場の状況に応じてイコールコンディションになるよう設置する。広さは 10m×3m 以内とする。
- ② テクニカルゾーン内に入れるのはチームドクター、セーフティーアシスタント、トレーナーなどメディカルスタッフ 2 名以内と給水係 3 名以内とする。
- ③ 上記スタッフは通信機を付けることはできるが、戦術上の指示・連絡を行ってはならない。
- ④ ディカルスタッフは、タッチライン沿いで待機することが出来るが同一チームのスタッフが同じサイドにいてはならない。
- ⑤ 給水係はキック係を兼任し、テクニカルゾーン内で待機しなければならない。ペナルティーの際は給水できない。
- ⑥ ディカルスタッフ・給水係と監督・ヘッドコーチの兼任はできない。
- ⑦ テクニカルゾーン内での治療行為はできない。
- ⑧ テクニカルゾーンの運用に関して違反行為がある場合、マッチオフィシャルやマッチコミッショナーから注意を与えられることがあり、程度によっては退場させられることもある。

<地震・雷等の荒天時における試合成立条件>

雷、地震等で実施不能となった場合、大学委員会で取り扱いを決定する。また中断した場合は以下の基準で対応する。

- ①前半が終了していれば成立とみなし、中断時の得点を結果とする。
- ②前半途中で中断した場合、レフリーと両チームで話し合い、後日再試合となった場合は、中断時点の得点は考慮されず、改めて行う。再試合が不可能の場合は成立とする。